

藤沢市 令和4年度事務事業評価シート(令和3年度分)

No. 1

事務事業名	デジタル推進事業費										担当課	部課名	企画政策部デジタル推進室			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	細目	002	説明	01	課等の長	佐藤 繁	電話	8667

1. 事業概要

事業開始年度	令和 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所の実現をめざす。また、Society5.0時代の到来を踏まえ、ICT等の新技術やデータの活用等により、本市が抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質を向上させ、新たな価値を創出し続ける持続可能なまちづくりの実現に向けて、スマートシティを推進する。				
事業目的及び必要性	現在国は、デジタル庁を設置するなど行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けた取組が必要である。また、人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化するなかで、限られた人員や財源で持続可能なまちづくりを実現するためには、デジタル技術など新しい技術を活用したスマートシティの推進が必要である。				
対象	1. 個人	市民・職員等			438,968 人
根拠法令等					

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト		重点施策名
<input type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) デジタル市役所の実現・スマートシティを目指した施策の推進を目的とした事業である。		デジタル市役所・スマートシティの推進
		指針体系コード
		5-2-11
2030年又は事業終了時の望ましい姿		その他の計画との関連
デジタル市役所の実現により、市民の利便性の向上、内部事務の効率化につなげる。また、産官学のマルチパートナーシップによるスマートシティの推進により、ICT等の新技術やデータの活用で本市の抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質をさらに向上させ、豊かで暮らしやすいまちづくりを実現する。		藤沢市DX推進計画 藤沢市スマートシティ推進指針 行財政改革2024実行プラン
		貢献する主なSDGsのゴール
		9 産業と技術革新の基盤をつくろう
		11 住み続けられるまちづくりを
		17 パートナーシップで目標を達成しよう

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
インターネットの活用などにより、さまざまな行政手続きが便利になっていると感じますか？	点	点	点	2.72 点
	点	点	点	点

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報酬	650 千円	DX戦略推進プロデューサー報酬等
	委託料	30,165 千円	デジタル人材育成業務委託・スマートシティ基本方針業務委託等
	使用料及び賃借料	5,487 千円	モバイルWiFi使用料・LINEアカウント使用料等
	負担金補助及び交付金	2,191 千円	地域IoTと情報力研究コンソーシアム負担金等
39,951 千円	その他	1,458 千円	その他旅費、事務経費等
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報酬	1,275 千円	DX戦略推進プロデューサー報酬等
	委託料	96,662 千円	IT人材育成業務委託・スマートシティ推進支援業務委託等
	使用料及び賃借料	20,988 千円	モバイルWiFi使用料・LINEアカウント使用料等
	負担金補助及び交付金	2,677 千円	地域IoTと情報力研究コンソーシアム負担金等
128,429 千円	その他	6,827 千円	報償費、需用費、事務経費等

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	-	-	-	7.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	-	-	-	0.00人工
非常勤職員	-	-	-	-
合計	0.00人工	0.00人工	0.00人工	7.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	-	-	-	1.00人
---------------	---	---	---	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	藤沢市DX推進計画及びスマートシティ基本方針の策定作業を進め、本市におけるDX及びスマートシティの取組の考え方を検討した。デジタル人材の育成については、各課等の職員を対象としてDX人材育成研修を開催し、職員の意識改革とともに、施策への反映につなげた。また、高齢者向けのスマートフォン活用講座等を開催し、情報格差の解消に向けて取り組んだ。						
成果 目標	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
	デジタルデバイド解消等に向けた講座参加者数	人				130	
	行政手続きのオンライン化状況(利用件数)	件	600,000	600,000	600,000	600,000	
	参考						
活動 実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	デジタルデバイド解消等に向けた講座開催回数	回				20	
	行政手続きのオンライン化手続数	件	147	182	176	240	
	数値で表せない効果						
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	デジタルデバイド解消等に向けた講座参加者数	人				158	
	行政手続きのオンライン化状況(利用件数)	件	581,914	598,855	672,313	802,767	
	デジタルデバイド解消の取組を推進したことにより、多くの市民が、デジタル化の恩恵を得られ、暮らしの豊かさの向上に寄与することができた。						

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	0	0	133,911			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	112,785			
	事業費(支出済額)				39,951			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	72,834			
	①常時勤務職員等の給与等				67,097			
	②会計年度任用職員の報酬等				2,811			
	③退職金相当額				2,925			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	21,126			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				21,126			
	③不納欠損額				0			
	④その他()				0			
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0			
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0				
①分担金及び負担金 c				0				
②使用料及び手数料 d				0				
③国庫支出金				0				
④県支出金				0				
⑤その他()				0				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額				0				
収支差額(純費用) A-B E	0	0	0	133,911				
分析 指標	項目	単位	単位	単位	単位			
	デジタルデバイド講座開催回数 F				20 回			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)				6,695,548.34			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	429,317	0.00	433,060	0.00	435,121	305.06
受益者負担率 (C+D)/A (%)								0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	デジタル市役所、スマートシティの実現に向け全国の自治体で様々な取組が始まっており、本市においてもICTの活用による市民サービスの向上、行政の効率化を図るべく全庁的に推進するための組織強化や人材の育成、外部人材の活用等の検討が必要である。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	地域情報化を含め自治体DX推進のため、社会動向や市民ニーズを把握し、関係各所との連携を図りながら取り組む必要がある。
(3) 令和3年度末時点の課題	DXの推進にあたっては、藤沢市におけるDXの推進の指針となる、「藤沢市DX推進計画」の策定作業を行ったが、今後は計画に基づき、行政手続きのオンライン化の推進やデジタル人材育成によりDXの推進に係る体制強化に取り組む必要がある。また、スマートシティの推進にあたっては、住民の生活上の困りごと解消につながるよう、住民のニーズを適切に踏まえ、施策を検討する必要がある。加えて、誰一人取り残されないデジタル社会の実現に向けて、デジタルデバイド解消の取組をさらに進める必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	市民の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、藤沢市におけるDXの推進の指針となる、「藤沢市DX推進計画」及び「藤沢市スマートシティ基本方針」を踏まえ、アンケート調査等により住民ニーズを把握し、ニーズに基づく施策を検討する。また、デジタルデバイド解消に向けた講座や相談会の開催を更に推進する。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの <input type="radio"/> エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの <input type="radio"/> イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 <input type="radio"/> ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 <input type="radio"/> エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
5. 内部管理	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	新型コロナウイルス感染症の対応等において我が国におけるデジタル化にかかる様々な課題が浮き彫りとなり、人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化するなかで、国は司令塔としてのデジタル庁を中心に、行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。令和3年にはデジタル社会の形成に関する重点計画や自治体DX推進計画が定められ、自治体においても、デジタル社会を目指し、2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けた取組や、限られた人員や財源で持続可能なまちづくりを実現するための、新しい技術を活用したスマートシティの推進が求められている。	
他市等の事例	・鎌倉市 DX担当職員の公募 スマートシティ構想策定 ・茅ヶ崎市 DX推進方針策定	
市民ニーズ	把握方法	デジタルデバインド講座の受講者に向けてアンケートを行った。
	把握内容	アンケート結果から、「1日では覚えきれない」、「使っていてわからないことを質問したい」、といった身近な地域でスマートフォン利用等にかかる講座や相談会の開催ニーズがある。
	対応等	身近な地域でデジタルデバインド解消に向けた講座や相談会を開催できる仕組みづくりを検討。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、藤沢市におけるDXの推進の指針となる、「藤沢市DX推進計画」及び「藤沢市スマートシティ基本方針」の策定作業を進め、デジタル市役所とスマートシティの実現をめざした施策に取り組んだ。	
今後の方針	まちづくりテーマ	⑤ 未来を見据えてみんなではじめる
	事業の方向性	事業拡大
	藤沢市DX推進計画に基づき、市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの利活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所の実現を推進する。 また、スマートシティの推進に向けて、住民のニーズを把握したうえで、住民の困りごとを解消するために適切な技術や仕組みを検討し、実装へ向けて取り組む。誰一人取り残されないデジタル社会の実現のため、デジタル機器に不慣れな方が安心してデジタル機器に触れることができるよう、デジタルデバインドの解消を目的とした講座を継続的に開催する。	

9. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	宮原 伸一	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和4年度事務事業評価シート(令和3年度分)

No. 2

事務事業名	ロボット未来社会推進事業費										担当	部課名	企画政策部デジタル推進室			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	細目	003	説明	01	課等の長	佐藤 繁	電話	8667

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	「さがみロボット産業特区」の取組と連携し、生活支援ロボットの利活用及び普及拡大等を図るとともに、次世代ロボット開発人材の育成を支援する。					
事業目的及び必要性	今後の超高齢社会の進展や人口減少にともない発生する社会的課題に対応し、市民生活を向上させるためロボット活用の促進を図る。					
対象	1. 個人	市民				438,968 人
根拠法令等						

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト	重点施策名
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 将来の生産年齢人口減少を見据えて、生活支援ロボットの利活用促進により、まちの持続可能性を向上させるとともに、最先端技術を活用して市民生活の質的向上を図る事業であるため。	デジタル市役所・スマートシティの推進
	指針体系コード
	5-2-21
2030年又は事業終了時の望ましい姿	その他の計画との関連
市民生活向上のためのロボット利活用の促進を図り、「ロボットと共生する未来社会」を実現する。	藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト
	貢献する主なSDGsのゴール
	3 すべての人に健康と福祉を
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	11 住み続けられるまちづくりを

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
デジタル技術など、最先端のテクノロジーが活用されたまちであること	- 点	- 点	- 点	2.31 点
	点	点	点	点

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	委託料	1,375 千円	行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業
	使用料及び賃借料	350 千円	行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業
28,540 千円	負担金補助及び交付金	26,815 千円	生活支援ロボット普及啓発等推進事業、ロボットに関する次世代人材の育成事業
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	使用料及び賃借料	714 千円	行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業
	負担金補助及び交付金	27,026 千円	生活支援ロボット普及啓発等推進事業、ロボットに関する次世代人材の育成事業
27,740 千円			

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	1.50人工	1.30人工	1.30人工	1.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	0.00人工	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	0.00人工	0.00人工		
合計	1.50人工	1.30人工	1.30人工	1.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.00人	0.00人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの利活用と普及啓発等を図った。						
	1 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 ・57社79種の生活支援ロボット等の展示 2 ロボットに関する次世代人材の育成事業 ・少年少女ロボットセミナーの開催 1月16日及び22日開催、参加者57人 3 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 ・実証実験実施件数 6件						
成果 目標	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
	ロボテラス来場者数	人	5,000	5,000	1,000	1,000	
	ロボットに関する次世代人材育成のためのセミナー参加人数	人	50	50	50	50	
	実証実験実施件数	件	2	5	5	5	
参考							
活動 実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	ロボテラスにおける生活支援ロボット等の展示	月	12	12	12	12	
	ロボットに関する次世代人材育成のためのセミナー回数	回	1	1	1	1	
	実証実験実施件数	件	2	8	7	6	
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	ロボテラス来場者数	人	6,915	8,731	826	1,530	
	ロボットに関する次世代人材育成のためのセミナー参加人数	人	84	84	60	57	
	実証実験実施件数	件	2	8	7	6	
数値で表せない効果							
・ロボット先進都市としての知名度が向上し、シティプロモーションにも寄与することができる。							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	36,547	43,523	43,089	37,639
	(1)現金を伴う支出 (千円)	36,397	44,114	43,094	38,543
	事業費(支出済額)	21,942	31,480	30,515	28,540
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	14,455	12,634	12,579	10,003
	①常時勤務職員等の給与等	13,751	11,883	11,876	9,585
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	704	751	703	418
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	150	-591	-5	-904
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	150	-591	-5	-904
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
	行政収益(事業収入) B	1,046	8,267	8,650	12,722
(3)現金を伴う収入 (千円)	1,046	8,267	8,650	12,722	
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
③国庫支出金	0	0	0	0	
④県支出金	1,046	8,267	8,650	12,722	
⑤その他()	0	0	0	0	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用)A-B E	35,501	35,256	34,439	24,917	
分析 指標	項目	単位	単位	単位	単位
	ロボテラス来場者数 F	人	人	人	人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	5,285.18	4,984.88	52,165.86	24,600.45
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	82.69	81.41	79.15	56.76
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	令和2年度に「ロボット未来社会推進プロジェクト」の中間見直しを行った。現プロジェクトの期間が令和4年度までであることから次期プロジェクトについても検討をする必要がある。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	「藤沢市ロボット未来社会推進会議」や「ロボット施策庁内連携推進会議」において、これまでの取組の振り返り、評価、課題の抽出を行い、次期プロジェクトの検討を行う。
(3) 令和3年度末時点の課題	現プロジェクトの期間が令和4年度までであることから次期プロジェクトについても検討をする必要がある。その際には、県のさがみロボット産業特区の第2期についても同じく令和4年度で一区切りになるため、県の動向もふまえて次期プロジェクトの検討をする必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	ロボット施策庁内連携推進会議において、各課の意見を聞きながら来年度以降の取組内容、進め方を検討する。また、それに伴い、今後のロボテラスのあり方についても見直し、湘南産業振興財団と議論する。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	○	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	○	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	○	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	
		○	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		○	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
○		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 補助金・負担金	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ・「さがみロボット産業特区」が平成30年度から第2期計画へ移行し、農林水産やインフラ・建設等の対象分野が拡大されるとともに、ロボットの活躍を実感できるよう特区の取組の「見える化」を推進していくことになった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から新たな生活様式にあったロボットの利活用が期待される。 	
他市等の事例	相模原市「さがみはらロボットビジネス協議会」 大和市「大和ロボット共同研究協議会」 厚木市「厚木市ロボット産業推進協議会」	
市民ニーズ	把握方法	ロボテラスの専門セミナー等における参加者アンケート
	把握内容	ロボテラスの専門セミナー等において、参加された企業や市民の方が生活支援ロボットに対しどのような関心を持ち、今後どのような施策を望んでいるか把握する。
	対応等	令和4年度以降の施策に反映させ、よりニーズにあった事業展開・制度設計に取り組む。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	当該事業は、生活支援ロボットの普及啓発や利活用に効果があった。	
今後の方針	まちづくりテーマ	⑤ 未来を見据えてみんなではじめる
	事業の方向性	事業統合
	今年度でロボット未来社会推進プロジェクトが一区切りとなるため、今後はロボットだけではなく、スマートシティの一分野としてとらえ、最新技術でどのように市民の生活をより豊かにしていくことができるか、行政課題を解決していくことができるか検討していく。	

9. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	宮原 伸一	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------